

学び合い やり抜く 栄中生 12月号

保護者・地域に支えられた栄中教育の情報誌

平成25年度版

校長 橋本 忠

保護者、地域の皆様には大変お世話になっております。
今後ともよろしくお願ひします。



12月21日(日)の県下一斉地域防災訓練には多くの生徒が参加し、地域の皆様に御指導いただきましてありがとうございました。1年生22人(96%)、2年生35人(92%)、3年生40人(95%)、全校で97人(94%)の生徒が参加しました。各地区の自主防災会の方々を中心に大変お世話になりました。その中で「私たちの地区では中学生が簡易トイレ作りの見本を見せてくれて良かった。」「中学女子が炊き出し係を担当したが、大変手際よくでき助かった。避難所生活体験学習などで体験して当たり前のことかもしれないが、当たり前のことができることが素晴らしい。褒めておいて下さい。」というような地域の方からのありがたいお声を頂きました。中学生の活躍を認めて頂き本当にありがとうございます。また、先日は千羽老人クラブ、原子・本所心和会、東山白寿会の皆様から、手作りぞうきんやタオルをいただきました。毎年この時期に頂いています。大事に使わせて頂きます。地域の皆様、本当にありがとうございました。

12月25日(水)から1月5日(日)まで12日間の冬休みとなります。冬休み中、子どもたちが健全に過ごせるよう保護者・地域の皆様、よろしくお願ひいたします。

地域防災活動知事褒賞の受賞報告を行いました。



前回の学校だよりでご紹介したように「防災教育の推進と地域と連携した防災活動」に対して、静岡県地域防災知事褒賞を頂くことができました。12月12日に掛川市教育委員会教育長室において、受賞報告をさせて頂きました。静岡新聞や中日新聞にも掲載され、ご存じの方もあるかもしれません。

本校で取り組んでいる防災活動は、保護者の皆様、区長会を中心とする地域の自主防災会の方々、市役所の方々など、たくさんの支えがあってはじめて成功させることができる活動です。今回の受賞を機に、さらに工夫を加えた防災活動に取り組めるように努力していくとともに、この活動を栄川中の伝統としていきたいと思ひます。今後ともご支援、ご協力よろしくお願ひします。

栄川中の話題を「輪」で振り返ってみると

12月24日全校集会の話より

……今年の漢字が新聞やテレビで話題となりました。今年の漢字は「輪」です。東京五輪の開催が決まったこと、富士山世界文化遺産登録、サッカーワールドカップ決定、日本中が輪になって歓喜にわいた年だからだそうです。本校のこれまでを「輪」というキーワードを使って振り返ってみます。

まず、1つ目は、校内の輪です。10月の栄中祭での頑張りは、学習センターにいたみなさんに大きな感動を与えました。その後も、生徒会本部を中心として、各学級での帰りの会での合唱が続いていったことがさらに良かったですね。やはり、合唱は栄川中の自慢です。また、清掃での黙働がだいぶ定着してきました。さらに、最近すごいと思うことは膝をついて一生懸命廊下を拭いている人たちがたくさんいることです。ただの黙働からその質もレベルアップしたと思ひます。これからも黙働清掃は大切にしていきたいですね。

2つ目は、援助の輪です。生徒会が中心となって行ってくれたフィリピン台風救援金は、たった3日間で何と63,476円が集まりました。すごいことです。また、道の駅で行われた募金ボランティアには、全校で17人のみなさんが参加してくれました。道の駅だけでも、1日で45000円、全市では40万円もの協力があつたようです。みなさんの温かい心が一つ大きな輪となって募金という形に表れました。みなさんありがとうございました。

最後、3つ目は、地域の方との輪です。11月に防災活動の県知事褒賞を頂いた話をしました。地域や市役所の方々の協力で、これまでみなさんが頑張った避難所体験学習の取り組みが受賞という形になりました。また10月には、世界農業遺産になった茶草場農法について杉浦さんや太田さんから講演会で話を頂いたこともありました。さらに、授業の中で、本所に住んでいらっしゃる岡本春一さんから、地域の偉人や地震について伺ったこともありました。これらすべての活動は、みなさんの頑張りを支えて下さる地域の方たちとの輪があつたからです。地域のみなさん方には本当に感謝しています。……